

留学体験レポート

国際学部 2年 石田 彩夏

1 はじめに

私は、8月23日から12月9日まで、アメリカのセントラルミズーリ州立大学へ留学してきました。今回は、そこで受けたプログラムと現地での生活について紹介したいと思います。

2 現地での生活

寒暖差が激しいので、夏は薄手のカーディガンや、冬はコート類など防寒対策をしたほうが良いと思います。また、衣類は現地でも購入することができます。また、ウォルマートというスーパーマーケットがあり、毎週火曜日に学校からバスが出るので、必要なものはそこで買い足すことができます。

3 IEP クラス

私たちは留学中、Intensive English Program (IEP) で勉強しましたが、初めにプレイスメントテストというクラス分けのテストを行うので、それぞれ自分のレベルにあった授業を受けることができます。私のクラスは、NUIS のメンバー5人と、サウジアラビア人、韓国人、中国人、タイ人などと様々でした。クラスメイトは皆優しく、とてもフレンドリーでした。彼らは、日本人と異なって積極的に挙手したり、発言したりします。また、先生方もとても気さくでした。月曜、水曜の午前に Reading、Writing の授業があり、火曜、木曜の午前に Communication Skills、Grammar の授業を受けます。慣れることには少し時間がかかりましたが、クラスメイトや先生方が優しく接してくれたので助かりました。午後の授業は NUIS のメンバーと受けます。

4 CP・AB について

私たちは、週に一度、Conversation Partner (CP) と話す機会があり、また Activity Body (AB) というセントラルミズーリ大学の学生と交流できる機会がありました。私の CP のパートナーは NUIS の学生2人に対し1人つき、敷地内にあるギャラリーに行ったり、ボーリングをしたり、お茶をしたりしました。私の AB のパートナーは、NUIS の学生4人に対して1人つき、一緒にご飯を食べたりしました。また、Japan Festival という日本文化を紹介するイベントがあり、そのイベントに参加して、一緒にまわりました。とても優しい方々で、とても話しやすかったです。

5 おわりに

今回の留学を経て得たものは、とても大きかったのではないかと感じています。私は、最初

留学へ行くことをとても迷っていました。約4か月という長い期間、自分は生活できるのだろうかと不安だったからです。しかし、今私は留学してよかったと心から思っています。このような経験は、家族や先生方、周りの人々のサポートがあったからこそできたと思います。そして、現地でも、友達や先生方など、たくさんの方々にお世話になりました。心から感謝いたします。私は、この留学経験を大切に、これからも勉学に励んでいきたいと思いをします。